

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第1回 城南 SDGs アワード

応募締切 2021年 8月15日(日)

< 実施要項・応募用紙の入手方法 >

jag_sdgs@johanan.co.jp宛にタイトル『応募用紙希望』と記載し、本文なしでメールを送信してください。お送りいただいたメールアドレス宛に実施要項及び応募用紙を返信いたします

「SDGs (エスディー・ジーズ)」という言葉、聞いたことはありますか? 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年の国連サミットで採択された国際目標です。背景には、2000年に採択されたミレニアム開発目標 (MDGs) があります。貧困の緩和や初等教育の普及など、発展途上国に向けたものが中心でしたが、その後、環境汚染やテロなど、世界の課題は多様化。人種や思想を超えて、よりよい未来を創っていくために誕生したのが、SDGsなのです。

SDGsには17の目標があり、世界中の誰もが主体的に取り組めるように設定されています。日本の小中学校でも、授業に取り入れるところが増えてきました。もしかしたら、子どもの方がSDGsに詳しくたりするかもしれませんね。

城南進学研究所も、総合教育ソリューション企業として、SDGsの課題に教育を通じて寄与していきたいと考えています。そこで今回、当社のお客様やスタッフなど、当社と関わりのある方を対象に、「第1回城南SDGsアワード」を開催することが決定しました。当社が「総合教育ソリューション企業」としてSDGs達成に貢献でき、かつビジネスとして成立する企画とします。優れたアイデアには、大賞5万円、企画賞3万円、参加賞図書カード千円を進呈。あなたのビジネスアイデア、お待ちしております!

田邊先生の

算数の不思議な世界

第3回 3けたの整数のしりとり



Profile
りんご塾代表 田邊 亨



滋賀県出身。ニューヨーク市立大学及びペンシルバニア州立大学で学び、その後大手国際特許事務所、学習塾を経て、現在は彦根市でりんご塾を5校場運営している。2010年より、「りんご塾」として算数オリンピックに参戦し、毎年多数の受賞者を輩出している。長年の指導経験から、算数の早期教育の重要性や、算数好きな子どもを育てる家庭のあり方等についても全国で講演会を行っている。著書多数。

みなさん「しりとり」はお好きですか? しりとりは語彙を増やすのにとてもいい遊びですね。今日は数字のしりとりです。算数オリンピックで過去に出題された問題です。

◆◆◆問題◆◆◆

下のように、3けたの整数の一の位からはじまる整数を次々とかいていく「3けたの整数のしりとり」をします。

335 → 502 → 299 → 901 → A → B → 222

このとき、A、Bにあてはまる3けたの整数の組み合わせは全部で何通りありますか。

◆◆◆◆◆ (ジュニア算数オリンピックより)

1語のしりとりがないように、1けただけの数字ではしりとりはできません。

2けた以上だとしりとりが成り立ちます。

まずは2けたのしりとりで考えてみましょう。

35 → 54 → 49 → A → B → 22

例えば上のようなしりとりですと、A・Bにあてはまる整数の組み合わせは全部でいくつあるでしょうか?

Aという整数は必ず9からはじまります。9が10の位です。ですから1の位の数は1~9までの9通り。1の位が0というのはBにつながらないので不可

です。続いてBの10の位ですが、これはしりとりですから当然Aの1の位と同じです。また1の位も次の22につながるわけですから2に決まります。1通りです。

9×1
よって9通りということ。

では算数オリンピックの問題にもどりますと

Aは「1 アイ」
Bは「イ ウ 2」という形であらわすことができます。
(ア・イ・ウはそれぞれ1けたの整数)

Bが3けたの整数となるためには「イ」は0にはなりませんので、

「ア」は0~9までの10通り

「イ」は1~9までの9通り

「ウ」は0~9までの10通りとなります。

よって10×9×10で、答えは900通りということになります。

計算自体はとても簡単で、九九ですらないレベルです。しかしこれが、算数が得意な子達の頭を悩ませます。計算をすることが算数だと思っている子達には、これが算数なの? という問題です。